

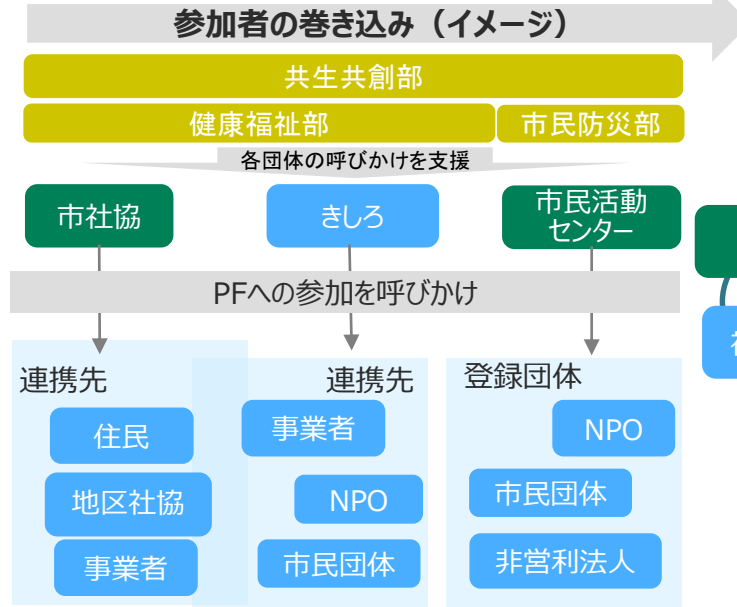
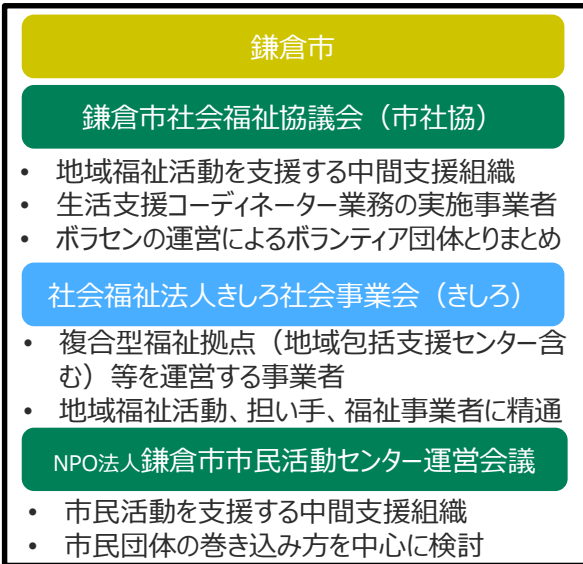
人口	約17万人
面積 (km <sup>2</sup> )	約39

## 鎌倉市 実証事業の概要 ①連携プラットフォーム (PF) の概要

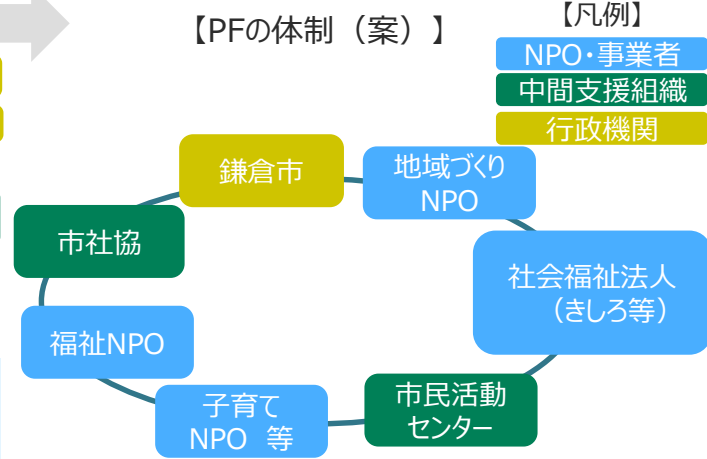
### 目指す姿

「ぜい弱な者同士が支え合っている世帯」「ケアラー・ヤングケアラー」「ひきこもり」をはじめとした市民の孤独・孤立状態の解決に向け、社会課題の解決に向けた官民による取組を有機的に統合する。

#### 【準備会体制】



#### 【PFの体制 (案)】



#### PF形成の工夫①

### 重層的支援体制を担う支援関係機関における新たな連携の場（連携プラットフォーム）の必要性に関する意識醸成

重層的支援体制を担う事業者が、新たな**連携の場（連携プラットフォーム）**に参画する上では、その**必要性**について支援関係機関のニーズを受け止めることが不可欠と考え、まずは政策研究にて、**多数の支援関係機関等と丁寧な対話を複数回実施**。

その結果、**新たな支援の取組の必要性**、それを行うための官民連携や行政と支援関係機関等との間での**役割分担の必要性**等を指摘する声が支援関係機関等、行政職員双方から多数あり、**新たな連携プラットフォームの必要性**について、**理解が深まった**。

#### PF形成の工夫②

### 準備会声かけに向けた市民団体や事業者の意識醸成

かまから市民活動フェスティバルで孤独・孤立対策への意識醸成の講演とワークショップ（講師に内閣官房大西政策参与を招聘）を行い、上記の事業者等の参加を得て、市民団体や事業者の**連携プラットフォーム参加への機運**を形成。

結果、イベント主催者であるNPO法人を含めた3団体からPF準備会への参加の承諾を得た。

## 鎌倉市 実証事業の概要 ②孤独・孤立対策の概要

### 2022年度に実施した孤独・孤立対策

#### 目的 支援施策の検討材料

支援関係機関等へのヒアリングによる政策研究

時期	2022年11月21日、11月22日、11月30日
参加者	複合的かつ困難な課題を抱えた3世帯に対し、支援を行う支援関係機関等 (社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO法人、学校関係者、医療機関、市職員等 合計12団体のべ29名(事務局除く))
実施方法	対面形式
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例の対象者/世帯への支援(内容、頻度、連携等)を通じた政策課題の抽出</li> <li>類似事例において、これまでの業務の中で、対応に苦慮した/していることから導き出される、新たに必要となる支援策等</li> </ul>

#### 目的 支援施策の検討材料、関連施策の総合的かつ効果的な進め方の整理

有識者ヒアリング

#### 目的 状況把握、支援施策の検討材料

アンケート調査(ひきこもり)

時期	2022年12月下旬～2023年1月
対象者	鎌倉市民
実施方法	郵送法によるアンケート(住基台帳無作為抽出により、15歳以上64歳以下の市民2,000人を抽出)
設問概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答者本人や家族について</li> <li>日常生活について(自宅にいるときによくしていること、日常生活で不安に思っていること、近所付き合いの状況、ふだんの外出頻度、会話の状況等)</li> </ul>
回答数	1,017件(回収率50.9%)

#### 目的 状況把握、支援施策の検討材料

アンケート調査(ヤングケアラー)小学生用⇒

市内公立小4-6年生・中学生および市内在住高校生に対するアンケート調査実施に合わせ、調査対象者にヤングケアラーについて啓発するチラシを配布



### 2023年度以降の活動計画

- 連携プラットフォーム立ち上げに向けた準備会会合を継続開催する予定。

	時期	主なアジェンダ
第2回準備会	2023年7月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉市における孤独・孤立の現状と課題の整理</li> <li>鎌倉市における連携プラットフォームが目指す将来像の検討</li> </ul>
第3回準備会	2023年10月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携プラットフォーム概要の検討(規模・機能・役割・取組内容、体制、参加団体のイメージ等)</li> </ul>
第1回連携プラットフォーム本会	2024年2月末頃	(今後の準備会にて検討)

## 鎌倉市 実証事業の概要 ③ 試行的事業の概要

試行的事業の名称	事業内容	期待される効果	実施時期	発注先	費用（税込）
支援関係機関等へのヒアリングによる政策研究	複合的かつ困難な課題を抱えた世帯の支援者が一堂に会した政策研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援施策の検討材料の取得</li> </ul>	2022/11	—	105千円 ※参加者への謝金、消耗品費
有識者ヒアリング	（鎌倉市）ケアラー条例制定にかかる課題整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援施策の検討材料の取得、関連施策の総合的かつ効果的な進め方の整理</li> </ul>	2022/12	—	—
アンケート調査（ひきこもり）	住基台帳無作為抽出による市民2,000人に対するアンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひきこもりの状況把握</li> <li>支援施策の検討材料の取得</li> </ul>	2022/12～2023/1	サーベイリサーチセンター	4,059千円
アンケート調査（ヤングケアラー）	市内公立小4-6年生・中学生および市内在住高校生に対するアンケート調査実施に合わせ、調査対象者にヤングケアラーについて啓発するチラシを配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤングケアラーの状況把握</li> <li>ヤングケアラーについての普及啓発</li> </ul>	2022/12～2023/1	プリントパック ラクスル	119千円